

分科会評価報告書（平成27年度決算）

（都市経済分科会 No.3）

(所管課, 事業コード) 事業名	(都市計画課 3260) 市営住宅管理費 ※P629	
評価	1	① 拡充 2 継続 3 改善 4 縮小 5 休止 6 廃止
<p>【必要性】 <目的の妥当性, 行政が行う必要性> 基本的には低所得者等の住宅困窮者を対象にした事業であり, 行政の役割は大変大きなものである。また, 国からの補助を受けての事業でもあるため, 行政が行う必要性は高い。</p> <p>【効率性】 <効果と費用等との関係> 長寿命化計画に基づいた事業で, 補助事業として行っているため, 効率性は高い。また, 費用も収入に対し, 健全である。改修工事の内容においても, 畳をフローリングにする洋間化などにより, 維持管理のコスト縮減が見られる。</p> <p>【有効性】 <得ようとする効果と得られている効果との関係> 入居希望も継続して申込みがあり, 施設の設備等, 修繕は欠かすことのできない要件である中, 管理コストも良好であり, 補助事業も財源の一部であることから, 効果的な事業である。しかし, 住宅利用者の立場を考えると, 網戸の設置等については, 今後検討願いたい。今後, 計画的な維持補修を行い, 施設の有効活用を図る必要がある。</p> <p>【評価説明】 予定している大規模改修等により長寿命化が図られるため, 評価できるものである。しかしながら, 居住者から見れば利便性において不便を感じているところもあるかもしれないので, 居住者の意見を聞き, 十分検討し, 計画的な改修や修繕を行う必要がある。また, 入居希望者の待機が多いことから, 新たな建設ではなく民間住宅の活用などを検討していく必要がある。 これらのことから, 本事業は「拡充」と評価する。</p>		